

様式 1

授業科目 大学英語 A2

科目コード番号

【担当教員名】 Rosalia Martinez	対象学年	2	対象学科	全科共通
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要及び学習目標】

<概要>

英語によるコミュニケーションの必要性は高まる一方であるが、日本人の英語に対するコンプレックスと外国人と対面することへの恐れは根深いものがある。当クラスではこの問題を乗り越え、英語によるコミュニケーション力を育てるために、そのために必要な知識や方法を、一切日本語を用いずに体験的に学ぶことをねらいとする。(映画、ビデオ、ミュージック、詩、絵画、など様々な素材を用いて講義を行うことにより、学生は視覚的、感覚的に容易に理解することが可能となる。) 1年次に学習したコミュニケーションの基礎をさらに発展させ、様々な状況設定や課題に対応して、質問-返答・感想・意見・ディスカッションなどを英語で行えるようになることを目標とするが、さらに欧米の文化・習慣・価値観について、日本と対比させながら、外国人の視点から学ぶことを通して異文化理解を深め、合わせて日本や日本人についても考えるきっかけになることを期待する。

<目標>

1. 恐れずに外国人とのコミュニケーションに挑戦する態度と英語への関心を育てる。
2. 欧米の文化・習慣・価値観について理解する。
3. 英語の辞書の使い方に慣れる。

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1~3	異文化コミュニケーションについて	異なる文化・価値観・言語を持つ人間同士がコミュニケーションを取り、理解し合うことの大切さと問題点について学ぶ。	講義とビデオ
4~7	英語によるコミュニケーション演習①	Question-Answerプロセスの重要性とその方法について学ぶ。	演習
8~9	外国での生活体験者に聴く	ゲストスピーカーによる体験報告を聴き、日本と外国の文化や価値観の違いについて認識を深める。	講義と質疑
10~13	英語によるコミュニケーション演習②	身近なトピックをもとに、自分の意見や感想を日本語作文→英作文し、英語でディスカッションしあう。	演習
14	まとめ	これまでの学習のふりかえりとまとめ	講義

【評価方法】

出席・実習の態度・小テスト・定期試験等から総合的に評価する。

【履修上の留意点】

出席を重視します。また授業中は受け身でなく、自らすすんで参加し、考え、質問する積極性を期待します。英和及び和英の辞書を必ず携帯すること。

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書				
参考書				
その他 (プリント等)	テキストは使用しません。オリジナルのプリントや新聞・雑誌、映画、ビデオ、詩などを必要に応じて使用します。			